

皆さん、ティティカカ湖ってご存じですか？

南米アンデス山脈の中腹にあるこの湖は海拔3800m。富士山より高い場所にある、世界でも珍しい湖の一つです。このため、赤道に近いにも関わらず水温が低く、年間を通じて20度を超すことはありません。そして、この超高所にある冷たい湖

## ひとく 研究員 だより

には、一風変わった魚が住んでいます。オレスティアス属というグループに含まれる、20種ほどの魚です。

この魚たち、ざっくり言うところグッピーと同じ仲間（カダヤシ目）なのですが、グッピーからは想像もつかない姿をしています。まずは大きさ。最大の種は体長20cm以上になり、グッピーの何倍にもなります。そして体形。種によって細長かったり、ボ

### 主任研究員 高橋鉄美さん

南米・ティティカカ湖で見られるオレスティアス属の魚。一番上がルテウス

ツテリしたりとさまざまです。ルテウスという種は体が丸っこく、硬いうろこで覆われており、この魚を初めて見たとき、淡水魚とは思えないその外見に興奮したのを覚えています。また、理由はよく分からないのですが、すべての種で腹びれがあり



ません。

このようなティティカカ湖のオレスティアス属は、20種ほどのうち多くがこの湖にしかない固有種です。そしてその固有種は、たった1種から湖内で種分化したことが分かっています。ティティカカ湖という限られた場所で、1種からさまざま

な姿をした十数種に独自の進化を遂げたなんて不思議ですね。これらは世界でここにしかない、とても貴



### ■ 南米ティティカカ湖の魚類 オレスティアス属 ■

## 固有種の危機救いたい

重なる存在なのです。

しかし、この貴重な魚は今、大きな試練に直面しています。ニジマスやペヘレイといった大型魚が移入されたり、強い漁獲圧にさらされたりしているのです。いずれも人間の影響です。このため、すでに絶滅してしまった種もあります。

実は、先に20cmを超すと紹介したオレスティアス属最大の種は、前世紀のうちに絶滅してしまいました。残念なことに、今では標本でしか、その堂々とした姿を見ることができません。

私は、これらの魚を守るための研究を続けてきました。しかし、なかなか資金を得ることができず、現在は中断している状態です。こうしている間にも多くの種が危機に直面していることを思うと、いたたまれなくなります。

ティティカカ湖は、インカ帝国の発祥の地とされています。この神秘的な湖に住む一風変わった、ここにしかない魚たちを、なんとか救いたいものです。